

決意表明

私たち広島県身体障害者施設協議会は、創立 50 周年の節目にあたり、障害者福祉をとりまく環境の変化に対応し、障害のある人たちが真に自分の望む生活、自らの能力を最大限に生かした経済活動、社会活動への参加ができるよう、各会員施設が質の高い支援を実践し、会員施設間の強固な連携による活動を継続していくことを宣言する。

福祉情勢を見渡せば、介護・福祉業界の急性的とも言える人材不足、報酬単価の切り下げなど厳しさを増し、また、障害福祉サービス利用も、一定の年齢に達することで障害の特性に対応しているとは言いがたい介護保険サービス利用に移行しなければならないなど、障害者のサービスの選択範囲も制限されてきている。私たちは、こうした中、障害のある人の次の声に応えることを使命とし、関係するすべての団体と連携して活動していく。

- 一、「私たちを抜きにして、私たちのことを決めないで」という私たちの声に耳を傾けてください。
- 一、「自立」を誰の手も借りず自力で行うことという短絡的なものとして捉えないでください。自分が望む生活のために必要な支援を求め、協力を得ながら生活する姿も自立したものであると理解してください。
- 一、施設に入所していることと、地域で生活していることを比較して優劣をつけないでください。本当に必要なことは、その人の望む生活ができていのかどうかであり、どこで生活しているかではありません。私たちの本意を理解してください。
- 一、私たち一人ひとりの障害特性や個別性から生じる個々の違いを理解し、個性に寄り添いながら、環境に応じた支援を行ってください。
- 一、私たちの「一人の人として人生を送りたい」という願いを実現するために、福祉制度や施策を整えることを求めていく私たちに力を貸してください。

私たち協議会は、障害のある人たちが望む生活を実現するための最良のパートナーになるため自己研鑽を重ね、利用者はもとより地域社会の期待に応えるよう最善の努力をし、これからの新たな半世紀に向けて活動していく決意をここに表明する。

2017 年（平成 29 年）11 月 28 日

広島県身体障害者施設協議会